

## 傷害速報 類似例

### 傷害速報 No.36 「カーテンの留め紐による縊頸」の類似事例 1

傷害発生日時：2012年11月○日 朝 7-9時

生来健康な6か月男児

経過：

午前7時に大人用のベッドで二度寝をさせた。9時過ぎに母親がそろそろ起こそうと様子を見に行ったところ、ブラインドの紐が児の首に巻いていて反応がないのを発見し、救急隊を要請した。覚知は午前9時42分、現地到着は9時52分で、母親により胸骨圧迫のみ実施されていた。当院到着は10時8分で、蘇生を続行、気管挿管 アドレナリン投与を行うも反応なく、35分後に死亡を確認した。前頸部を中心に幅1cm、長さ15cm程度の紫斑、ならびにその上部に点状出血が散在していた。

ベッドの高さは約40cm、窓の脇に設置されていた。窓にはブラインドがあり、その紐がベッド脇に垂れ下がっていた。ブラインドの紐は2つあり、ひとつは床についていた。もうひとつの紐は床から22cm離れたところまで垂れ下がっていた。

患児はベッドの上で眠っていたが、発見時には床の上であった。床から22cmの紐の方に首が引っかかり、心肺停止の状態で見送られた。誰も見ていないので詳細は不明であるが「児が寝返りをし、ベッドから落ちた時に、ベッド脇にあったブラインドの紐がたまたま児の首に食い込み、床上で心肺停止で見送られた」と推測される。